

未来の医師への第一歩！千葉大学医学部見学セミナー開催！！ 渋谷教育学園幕張高等学校から約70名の生徒の皆さんが参加しました

令和4年8月26日(金)に「千葉大学医学部見学セミナー」を行い、学校法人渋谷教育学園幕張高等学校（以下、渋谷幕張高校）から1～3年生までの約70名の生徒の皆さんにご参加いただきました。このイベントは、昨年11月に渋谷幕張高校にて横手幸太郎医学部附属病院長が出張講演を行ったことがきっかけとなり、これからの将来を担う高校生に、『少しでも医師という仕事や医学の研究職について知ってもらいたい、千葉大学医学部に興味をもってもらいたい』という想いのもと、多くの方々のご協力のもと実現したものです。

横手医学部附属病院長の挨拶に始まり、続いて医学教育学研究室に所属し、医学部附属病院で総合医療教育研修センターの医師として勤務する伊藤彰一教授から、140年もの長い伝統をもつ千葉大学医学部の歴史や、川崎病や新型コロナワクチン開発などといった千葉大医学部で特筆される免疫研究や治療学、また千葉大学医学部のルーツである“千葉医学”についての紹介がありました。

続いて行われたラボツアーでは、19の研究領域にご協力いただき、生徒の皆さんが普段は見られない研究室を訪問し、研究者や大学院生から実際に臨床現場、研究、学生生活について話を聞いたり、実験などを体験しました。

免疫発生学の研究室では、渋谷幕張高校の卒業生である先輩学生が話をしてくれている場面や、フロアで卒業生が恩師の先生に偶然遭遇するという場面もありました。とある研究室を覗くと、先生だけでなく、生徒さんも熱く語っている場面も垣間見えたりするなど、生徒の皆さんの進路や医療に対する意識の高さが伺えました。

コロナ禍ということもあり、感染対策の都合上、今回は医学部附属病院内の見学は行われませんでしたが、伊藤教授から最先端の設備が揃う医学部附属病院について紹介された後、生徒の皆さんは隣接する医学部附属病院救急救命センターを見学しました。

ここでは、ER室内を見学したり、救急救命士らから“走る救命救急室”こと「ECMO（エクモ）カー」や専用ストレッチャーの説明を受け、実際にエクモカーの中を見学しました。説明中に実際に救急の患者さんが搬送されてくる場面もあり、ほんの一部ではありますが、救急現場のリアルな状況や、患者さんの命を預かる現場で働く医師たちの姿を見ることができたのではないのでしょうか。

最後に質疑応答の時間には多くの質問が寄せられ、伊藤教授や医学教育学担当/医学部附属病院総合医療教育研修センターの笠井大講師が回答しました。

「千葉大学医学部のここがスゴイところは？」、「医学部生ってどのくらい勉強するんですか？」などの千葉大学医学部に関する質問から、「女性医師として、また研究者としてのキャリアプランは？」などといった、時には鋭い質問もあり、終了時間を大幅に超えての盛り上がりでした。



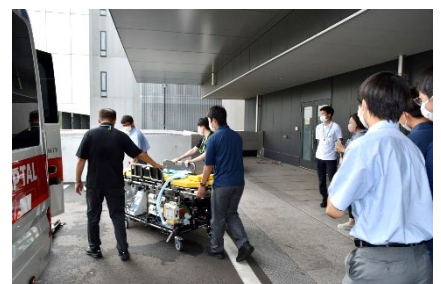
挨拶をする横手病院長



医学部を紹介する伊藤教授



遺伝子実験を体験する様子



ストレッチャー搬送を体験